

平成29年度 現地検討会実施状況（エゾシカ対策等）

分野	検討会名	開催月日	主催 共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
エゾシカ 対策	エゾシカ簡易影響調査勉強会	5月29日 ～30日	網走中部森林管理署	北見市（国有林）	国有林	37 名	エゾシカによる森林被害の状況を把握するため、国有林で取り組んでいるエゾシカ簡易影響調査の目的と内容について理解するため、座学と現地検討会を実施	5月29日は、「エゾシカの生態と森林被害」「エゾシカの森林内に生息するシカの密度」「北海道森林管理局全体で取り組んでいるエゾシカ簡易チェックシートを活用した取組」について座学を行った。 5月30日は、現地でエゾシカの食痕等の見分け方の確認とチェックシートを使った調査を実際に行い、それに基つき結果の検討や、センサーカメラに設置や活用について説明を受けた。 参加者からは、データの集約や活用法について質問や意見が出され、理解を深めた。	
					民有林	名			
					自治体	24 名			
					事業体	名			
					研究機関	2 名			
					その他	4 名			
					合計	67 名			
講師による現地説明									
エゾシカ 対策	エゾシカ簡易影響調査の勉強会	6月29日	根釧東部森林管理署	標津町（会議室） 中標津町（国有林）	国有林	31 名	エゾシカ簡易影響調査の取組を強化するため、「エゾシカの生態や森林被害」に関する知識やエゾシカの痕跡（食痕、シカ道、足跡、糞等）を判別する能力の向上を目的とした勉強会を実施	「エゾシカの生態と森林被害について」と題した外部講師による講義、局担当者による「北海道森林管理局におけるエゾシカ対策について」の説明、意見交換等の座学を行った後、現地で参加者全員がエゾシカの痕跡について、簡易チェックシートを用いて確認した。 外部講師によるエゾシカの痕跡についての解説や調査結果の評価に、参加者からは「非常に参考になった。今後も勉強会等を継続してもらいたい。」などの意見があった。	
					民有林	名			
					自治体	23 名			
					事業体	名			
					研究機関	3 名			
					その他	名			
					合計	57 名			
外部講師による解説									
エゾシカ 対策	平成29年度 エゾシカの立木食害等が天然更新等に与える影響調査事業現地検討会	7月26日 ～27日	北海道森林管理局 保全課	小平町（国有林） 苫前町（国有林） 増毛町（国有林）	国有林	19 名	エゾシカによる森林被害の今後の対策について考察するため、専門家とともに現地で被害状況や林分の変化を確認しながらエゾシカが森林に与える影響の実態に関する現地検討を実施	平成21年度より実施している調査が2巡目に入り、前回（平成23年度）と現在の概況を説明の上、経年による被害状況や林分の変化を現地確認して専門家の方から意見をいただいた。 視察した留萌南部森林管理署管内についてはエゾシカによる食痕が少なく、近隣での捕獲状況も勘案して、比較的エゾシカによる影響が少ない地域であるとの見解をいただいた。 また、本事業や職員が実施している簡易影響調査の結果についてどのように活用することが良いかなどの議論を行った。	
					民有林	名			
					自治体	名			
					事業体	名			
					研究機関	5 名			
					その他	5 名			
					合計	29 名			
エゾシカの食痕を確認									

平成29年度 現地検討会実施状況（エゾシカ対策等）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者		目的	内容	写真
エゾシカ 対策	平成29年度「くくりわな捕獲技術講習会」	1月16日	北海道森林管理局 保全課	栗山町（会議室） 夕張市（国有林）	国有林	29 名	近年、ワナ猟免許を所持の増加により、国有林内でワナの設置要望も増加 一方、北海道森林管理局におけるエゾシカ対策について、捕獲手法の多様化からくくりワナも検討しているところ 以上のことから、くくりワナに対する職員の知見や技術等を高める機会を設ける必要があるため、外部講師を招き講習会を開催	当日は前段に座学にて、捕獲の進め方、場所の選定・ワナの設置方法、見回りについて、保定方法及び止めさしの流れについて外部講師から説明を受けた。 座学終了後、現地に会場を移し、外部講師による実際のワナの設置方法を見学した後、参加者自身でワナの設置、実際に作動するかの確認を行った。	
					民有林	名			
					自治体	8 名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	2 名			
					合計	39 名			
講師によるくくりワナの設置方法の説明									
エゾシカ 対策	平成29年度 エゾシカによる森林被害緊急対策のための捕獲実践等事業現地検討会	1月26日	北海道森林管理局 保全課	夕張市（国有林） 夕張市（会議室）	国有林	14 名	継続したエゾシカ捕獲事業実施のため、エゾシカの食痕調査等の結果から森林被害対策を実施する森林を選定し、捕獲体制の構築、複数の手法による効果的な捕獲、スレジカ対策の実証、及び森林被害等の低減が図られたかを確認する手法を検討 あわせて調査、捕獲、検証の流れをまとめた手引き書の作成を実施	1月26日、捕獲作業実施の直前に迫ったことを受け、捕獲手法を検証するため、学識経験者、関係機関、近隣の管理署や振興局などを交え、現地検討会を開催した。 現地で小型囲いワナ（体重計測式・サークルD）の設置意図、餌による誘引の状況などについて受託者から説明し、それを受け意見交換を行った。	
					民有林	名			
					自治体	12 名			
					事業体	名			
					研究機関	4 名			
					その他	4 名			
					合計	34 名			
小型囲いワナの設置方法について議論									
エゾシカ 対策	根室地域林政連絡会議現地検討会	2月26日	根釧東部森林管理署	根室市（国有林）	国有林	3 名	囲いワナによるエゾシカ捕獲の普及を進めるため、現地検討を実施	囲いワナにより捕獲されたエゾシカの回収作業現場をビデオによる映像を用いて座学で確認した後、現地で囲いワナを見学し、遠隔操作カメラや落とし扉の構造などの説明をした。 その後、引き続き実施した林政連絡会議において、森林共同施業団地の検討結果、コンテナ苗の活着率及び生長量調査の報告を行い意見交換を行った。	
					民有林	名			
					自治体	7 名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	10 名			
座学による囲いワナの説明									